



九州ブロック商工会議所青年部連合会は、 一緒に九州を盛り上げる仲間を募集しています！

令和7年度 九州ブロック商工会議所青年部連合会 スローガン



令和7年度 九州ブロック商工会議所青年部連合会
会長 古賀 正大

現在、我々を取り巻く経営環境は原油価格の高騰や歴史的な円安による原材料価格の上昇分を価格に転嫁することが難しく事業の継続が困難な業種業態がある一方で、輸出やインバウンド効果により好景気感を感じられる業種業態が存在しており、二極化が進んでいるように感じます。また、少子高齢化による人口減少と労働人口不足は「発注を頂いても人手不足により受注ができない」等ビジネスチャンスを見逃す恐れがあり、深刻な問題と言えます。

加えて近年九州地方では夏の豪雨災害が毎年のように発災しており、刻々と地球環境が変化している状況にあります。さらには、日本全国を見ると地震が各地で頻発しており、中でも令和6年元日に発生した能登半島沖地震では多くの文化や伝統を失いかける危機的な災禍が発生しました。災禍の跡は色濃く残っていますが、文化や伝統を次代に継承し永続させたいと願う人々たちによって復興が着々と進んでおります。

様々な事象の中で私がYEG活動に進んでいくエンジンは、これまで支えていただいた家族や従業員、単会を始め各地域で活躍されているメンバーで構成されており、燃料として九州ブロックYEGを紡ぎながら繋ぎ支えて下さった先輩方への感謝の念があります。九州ブロックYEGの固い絆は各々のメンバーが先輩方への感謝の念を胸に抱きながらメンバー同士が信頼し合った賜物であると確信しております。悠久のいしえから未来永劫へと繋ぐ、「今」を生きる私たちが出来る全力で未来に生きる子供達に恥じぬ活動することを誓います。

我々YEGは、これまで支えてこられた先輩方の想いに感謝し、これからを担う次代のために未来のイメージを描きながら何を創り・何を繋ぐべきか吟味し歩を進めていく必要があります。

世界情勢、日本国内、各地域においても全ての環境の変化が目まぐるしく速く、チャンスは「今」しかありません。時機を捉えられねば後髪さえ掴めない難しい時代だと言えます。このYEG活動を通してチャンスを掴み新たな一歩を踏み出すことが、私たちの子供や孫、その先の代にまで続く心豊かな未来を実現するための第一歩であり、YEGメンバーの心を合わせて歩を進めることが希望あふれる未来へ繋ぐ「継承」であると確信しております。

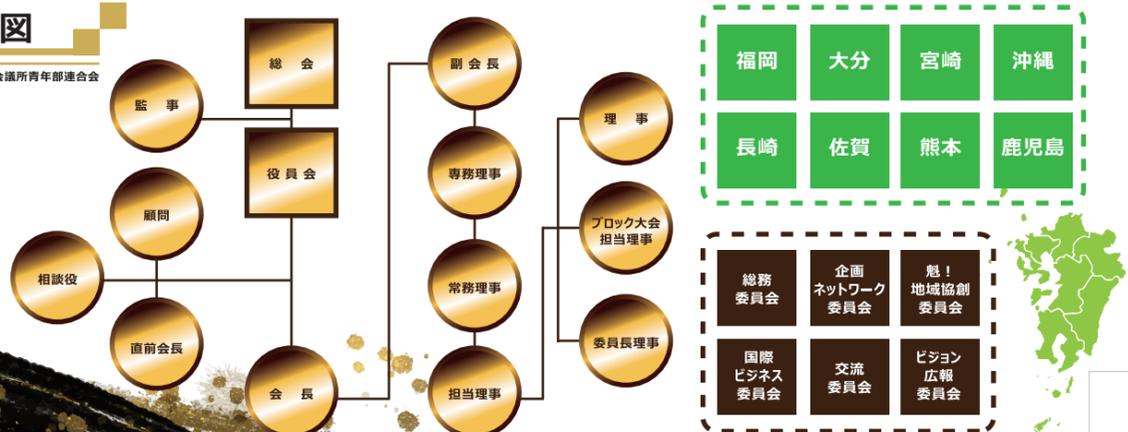
九青連とは？ 九州ブロック商工会議所青年部連合会の略称を九青連という。(以下、九青連)

地域 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の8県を合わせて九州ブロックという。

目的 九青連の交流と連携をはかり健全な発展を期すと同時に、経営者としての経営能力を高めるための研修会等を積極的に取り入れ自己啓発を促しつつ、合わせて商工会議所組織の強化に寄与すること。

事務局 会長所在地の商工会議所またはブロック大会を主催する単会の商工会議所に置く。(令和7年度は小城商工会議所内)

組織図



所属単会

令和7年度
九州ブロック商工会議所青年部連合会

福岡県連 会員総数 889名			宮崎県連 会員総数 531名			大分県連 会員総数 491名			鹿児島県連 会員総数 506名		
県連会長	井形 宏隆 (大牟田 YEG)		県連会長	多田 修一郎 (高鍋 YEG)		県連会長	河内 由揮 (別府 YEG)		県連会長	深水 真樹 (出水 YEG)	
単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)	単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)	単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)	単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)
久留米	迫田 智浩	259 (9)	都城	徳丸 寛史	92 (2)	別府	幸 康史	75 (5)	鹿児島	濱田 武久	133 (6)
大牟田	佐藤 大和	85 (7)	宮崎	宮崎 孝太	132 (6)	大分	山本 悠司	111 (6)	川内	永山 直樹	42 (3)
八女	井本 大輔	59 (2)	延岡	吉田 禎	59 (2)	中津	石井 明	54 (1)	鹿屋	圓田 健作	76 (7)
田川	松山 順一	62 (3)	日向	鈴木 宝祥	60 (1)	日田	佐藤 雅宏	38 (3)	枕崎	福元 勇一郎	20 (0)
柳川	古賀 慎一郎	64 (13)	高鍋	黒木 敏史	51 (2)	佐伯	山本 康博	64 (0)	奄美大島	大山 幸真	37 (0)
豊前	井上 朋彦	32 (0)	日南	松田 圭司	49 (0)	臼杵	中村 充	26 (0)	南さつま	中村 勇治朗	29 (0)
行橋	岡本 浩一郎	38 (2)	小林	濱田 真也	37 (3)	津久見	鳥越 基克	25 (0)	出水	福本 安明	48 (5)
苅田	野中 竜治	52 (0)	串間	吉田 愛実	23 (0)	豊後高田	宗 武志	44 (0)	指宿	神山 竜三	47 (0)
大川	豊田 寛	49 (6)	西都	横山 武士	28 (0)	竹田	深井 裕介	22 (0)	いちき串木野	松下 雄太	37 (3)
豊前川崎	城 亜由美	23 (1)				宇佐	岸 祐二郎	32 (0)	霧島	牧野 寛斎	37 (3)
筑後	田中 浩	77 (2)									
宮若	塩川 義登	20 (0)									
朝倉	黒木 普吾	69 (2)									

長崎県連 会員総数 608名		
県連会長	松尾 俊介 (平戸 YEG)	
単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)
長崎	高松 隆介	192 (4)
佐世保	中村 美由紀	107 (5)
島原	馬場 浩太	36 (2)
諫早	夏山 英之	87 (8)
大村	二階堂 悦久	53 (3)
福江	辻 徹郎	59 (0)
平戸	山口 正義	51 (2)
松浦	岩本 優生	23 (0)

沖縄県連 会員総数 262名		
県連会長	新垣 安達 (沖縄 YEG)	
単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)
那覇	宮城 充	136 (4)
沖縄	新里 洋二	34 (3)
宮古島	横山 昌司	42 (6)
浦添	長濱 健太	50 (3)

佐賀県連 会員総数 367名		
県連会長	吉川 徹 (鳥栖 YEG)	
単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)
佐賀	堤 雄亮	141 (10)
唐津	福谷 直希	48 (2)
伊万里	古賀 政章	68 (3)
鳥栖	田嶋 正和	42 (3)
小城	古川 健太郎	46 (9)
鹿島	家永 俊弘	22 (2)

熊本県連 会員総数 249名		
県連会長	平田 将士 (五名 YEG)	
単会名	R7 会長名	会員数 (九州連出人数)
熊本	井手 志保	77 (9)
荒尾	石崎 剛	50 (1)
人吉	宮田 浩秋	38 (0)
玉名	宮本 輝邦	42 (3)
山鹿	古澤 修	42 (4)

*会員数は令和6年10月10日時点



九州スクラム絆委員会紹介 令和7年度 九州ブロック商工会議所青年部連合会

<p>佐藤 繁 委員長</p>	<p>総務委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 開催地単会と綿密な連携を図り、総会、役員会、諸会議が円滑に進行できるよう、設営、運営を行う。 ● エンジェルタッチのアカウント統合、統合マニュアルの配信。 ● 名刺、ネームプレートの準備、手帳アプリの管理・運営 ● 春の会長会議、九州ブロック大会でのOB会総会の運営、設営を行う。 ● E X P O 事業での設営から取りまとめを行う。 ● 九州ブロックYEGが開催する主催事業への参加要請や案内、そして参加促進を行い事業への参加率アップを目指す。 ● 日本YEG関連委員会との連携 	<p>吉田 俊太 委員長</p>	<p>国際ビジネス委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海外とのビジネス事業 ● E X P O でのビジネス事業の実施 ● ブロック大会時の単会同士のビジネス連携事業 ● 九州ブロックYEG主催事業への参加案内及び参加促進 ● 日本YEG関連委員会との連携 ● その他ビジネスに関する活動等
<p>津川 修 委員長</p>	<p>企画ネットワーク委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ブロック大会・単会・県連の式典のサポート ● 単会訪問 ● E X P O 事業 ● 九州ブロックYEG規約の検討・見直し・主催事業への参加案内・参加促進 ● 単会及び未加盟単会との意見交換会・加入促進 	<p>森川 晃成 委員長</p>	<p>交流委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 会員同士の交流 ● 九州ブロック春の会長会議での設営・運営 ● 九州ブロック秋の会長会議での設営・運営 ● 全国リーダーズ研修会時の九州ブロックYEG交流会の設営・運営 ● E X P O の大懇親会の設営
<p>香月 太郎 委員長</p>	<p>魅！地域協創委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 九州景況ウォッチャーの実施により行政が施策上求めている情報を提供する ● 九州経済産業局、沖縄総合事務局への訪問、情報交換、交流会（風会議）の実施により官民の強固なつながりを作る ● 過去の政策提言の検証と意見交換、および未来のビジョンの策定 ● 九州管内の大学との連携、交流、意見の抽出 ● 九州ブロックYEG主催事業への参加案内および参加促進 ● 日本YEG関連委員会との連携 ● その他関連する活動等 	<p>知花 樹里 委員長</p>	<p>ビジョン広報委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 中期ビジョン研修会の企画運営 ● 次期役員候補者へ中期ビジョンの周知拡大につながる取り組みの企画・運営 ● 九州ブロックYEGのブランディングに関する企画および運営ならびに情報発信等 ● 広報誌の作成 ● 災害支援マニュアルの周知拡大と運用・九州ブロックYEG主催事業への参加案内及び参加促進



年間スケジュール・活動紹介

令和7年度
九州ブロック商工会議所青年部連合会

中期ビジョン

九州ブロック全ての単会の未来のために
「しなやかで力強い連合会」になる

青年経済人として社会の急激な変化を恐れず、「固定観念にとらわれない柔軟な考えで、勇気と情熱をもって力強く未来を創る」次代の先導者として地域経済を牽引し、光り輝く笑顔で満ち溢れた九州ブロックYEGを創造する。

九州ブロックYEGは未来のために、単会と共に進む。

スローガン

～すべては九州の未来の為に～
SMILE

「しなやかで力強い連合会」は笑顔で溢れている。笑顔溢れる連合会は、県連の垣根を超えた強い繋がりで結ばれている。その繋がりは信頼し合える仲間との出会いやビジネスマッチングのきっかけを創り、どんな困難にも打ち勝つしなやかさを兼ね備えている。

九州ブロックYEGは、九州の未来の為に笑顔の耐えないYEG活動をこれからも展開し続ける。

すべては九州の未来の為に
SMILE

18日 第114回役員会 第3回委員会<那覇>	4月	30日 第115回役員会 第4回委員会<小城>	5月	27日 第116回役員会 第5回委員会<諫早>	6月
18日 第117回役員会 第6回委員会<田川>	7月	22日 第118回役員会 第7回委員会<小城>	8月	26日 第119回役員会 第8回委員会 総会/秋の会長会議 27日 式典・大懇親会	9月
16日 第120回役員会 第9回委員会<島原>	10月	21日 第121回役員会 第10回委員会<熊本>	11月	12日 第122回役員会 第11回委員会	12月
16日 第123回役員会 第12回委員会<鹿児島> R8 第1回役員予定者会議	1月	13日 第124回役員会 第13回委員会<熊本> R8 第2回役員予定者会議	2月	20日 第125回役員会 第14回委員会<柳川市> R8 第3回役員予定者会議	3月
政策提言委員会事業		決起大会		九州ブロック大会<佐賀県 小城市> 26日(金)～27日(土)	
		風会議 Step 2			



令和6年度事業 活動紹介



表敬訪問

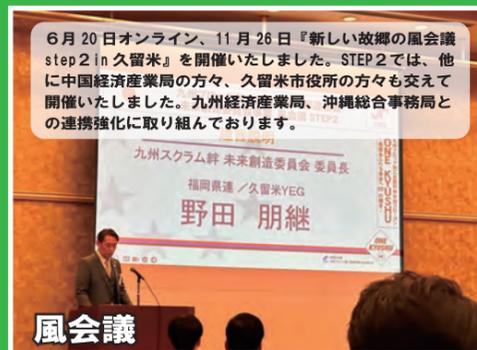
九州経済産業局、沖縄総合事務局に表敬訪問させて頂きました。



定時総会・会長会議

第31回定時総会・秋の会長会議

5月18日第30回定時総会及び春の会長会議を開催いたしました。10月11日に第31回定時総会及び秋の会長会議を開催いたしました。



風会議

6月20日オンライン、11月26日『新しい故郷の風会議 step 2 in 久留米』を開催いたしました。STEP2では、他に中国経済産業局の方々、久留米市役所の方々も交えて開催いたしました。九州経済産業局、沖縄総合事務局との連携強化に取り組んでおります。



九州スクラム絆委員会

R6年度九州スクラム絆委員会は、5委員会で発足しました。



研修事業

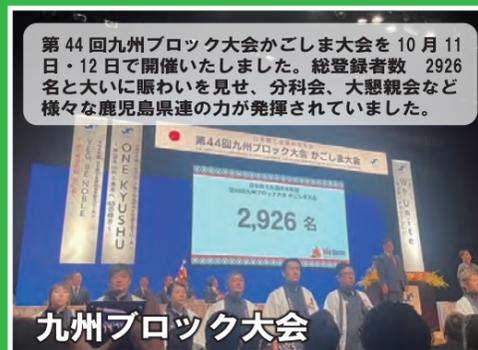
5月10日に諫早にて、『経営者のためDXスキル向上セミナー』を開催いたしました。グループディスカッションを開き、各グループ積極的に意見交換を行うことで、研鑽と交流のより良い場となりました。



ビジネス講演会

7月12日は大村にて、アパホテル株式会社取締役社長・元谷美美子氏による『信用・信頼が繋ぐ企業の未来』講演会を開催いたしました。力強い講演に会員一同パワーを頂きました。

アパホテル株式会社 取締役社長
元谷 美美子 様



九州ブロック大会

第44回九州ブロック大会がごしま大会を10月11日・12日で開催いたしました。総登録者数 2926名と大いに賑わいを見せ、分科会、大懇親会など様々な鹿児島県連の力が発揮されていました。



海外研修事業 in 韓国・釜山

1月19日～20日に実施いたしました。市場理解を深める貴重な機会であり、異国文化やビジネス環境に触れることで新しいアイデアや戦略を考える刺激にもなり、新たなビジネスモデル構築をする機会となりました。



公式HP



FOLLOW US

詳しいお問い合わせは各単会事務局まで！